

富士川橋 ふじかわばし



富士川に架けられていた木橋に代わり大正8年の道路法制定を受けて大正11年に着工、大正13年8月に完成した。総工費85万円で当時としては最高水準の技術を結集して施工され、現在まで大きな貢献をしている。構造はプラットラス。

所在地	富士市
建設時期	大正13年（1924年）
規模	延長399m 幅7.3m

—位置・場所—



富士川橋 ふじかわばし

—諸元—

構造物名(名称)	富士川橋	
よみがな	ふじかわばし	
文化財	***	
土木事務所	富士	
路線・河川名	(一) 富士由比線	
所在地	富士市・富士川町	
建築年代(竣工)	大正13年(1924年)	
利用状況	A(2:改造して利用)	
旧構造物名	***	
旧よみがな	***	
構造物の種類	橋梁	
主材料	鉄骨	
構造および形式	トラス橋	
寸法 (規模)	延長	399m
	幅	7.3m
	高さ	***

—特徴・系譜—

竣工	大正13年(1924年)	
設計者	***	
施工者	勝呂組 日本橋梁株式会社	
技術的特徴	総工費85万円で当時としては最高水準の技術を結集している トラス橋梁の正面構が立派に造られている	
延長・規模の特徴	幅員が7.3mとかなり広く造られている	
系譜	地域	***
	故事来歴	***
	関係した著名人	鉄材製作はイギリス・ドルマンロング、八幡製鉄所、勝呂組、日本橋梁。
意匠的特徴	***	
改修状況	昭和63年、西側ユスバン架替	
特記事項	昭和56年から61年まで橋梁補修事業として下部補強工事、岩渕側下り2車線化工事を実施した	

—写真—

